



させほ夢大学

発行●公益社団法人 させほ夢大学
編集委員会
事務局 / 〒857-0863
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545
http://www.yumedai.com/
E-mail:sasebo_yumedai@yahoo.co.jp

開催ご案内 25-9556

夢のつづき

させほ夢大学会報

No.271 (2018・7)

平成30年度
第4回

2018年 7月19日(木)

アルカスSASEBO 大ホール

●開 場 午後5:30
●夢のひろば 午後6:00
●講 演 午後6:30

今回の講師は、元フジテレビアナウンサーで、現在、貴乃花部屋の女将である花田景子さんをお迎えします。

アナウンサー時代にフランス駐在勤務、ニュース番組「FNNモーニングコール」等でキャスターを務められ、1995年に第65代横綱貴乃花と結婚されました。のち2004年2月創設の「貴乃花部屋」女将として、1男2女の母として多忙な日々を送っておられます。

さらに貴乃花部屋ホームページ内ブログ「女将のつづき」や花田氏が代表を務める株式会社ル・クルのブログも更新中であり、一般社団法人日本漢字習熟度検定協会名誉会長や宮崎県観光大使も務めておられます。



趣味や特技としては、ピラティス、ヨガ、アロマ、フラワーアレンジメントや料理等があり、「シコアサロン」(自身が主宰する、美しく生きる為のサロン)も展開中です。

ことばのアカデミー校長も務めておられる花田さんは、コミュニケーションには様々な方法がありますが、「ことば」を使えることは、人間に与えられた恵みです。「ことば」は奥深く、ときに難しく感じることもあります。「ことば」によって幸せがもたらされていることもあれば、思いがけない方向へ進んでしまうこともあるとおっしゃいます。

さあ、心と心をつなぐことばを大切に、心から笑顔になれる自分を創る時間が始まります!

はなだ けいこ

講 師 ● 貴乃花部屋 女将 **花田 景子氏**

テーマ ● **人を育てる、支える**



次回のご案内

- と き / 9月1日(土) 午後6:30~8:00
- 講 師 / キャスター しんぼう じろう 辛坊 治郎氏
- テーマ / あいまいな日本の問題点をスッキリと解く

●1956年大阪府岸和田市生まれ。早稲田大学法学部卒業後、1980年読売テレビ入社。「ズームイン!!朝!」「ウエークアップ!」「ニューススクランブル」等のリポーター、キャスターを務める。報道局情報番組部長・解説委員長を歴任。その間「たかじんのそこまで言って委員会」「ウエークアップ!ぶらす」で司会やメインキャスターを務める。2010年読売テレビ退職後も様々な番組で司会やキャスターを務め、現在は「そこまで言って委員会NP」議長。著書に「こんなこと書いたら日本中を敵に回す本」ほか。

花田 景子氏のプロフィール

●宮崎市出身。上智大学外国語学部フランス語科卒業、元フジテレビアナウンサー。1男2女の母。夫は第65代横綱「貴乃花」、現・貴乃花親方。女将業の傍ら、講演活動や司会、商品プロデュースなど多方面で活動中。「河野景子のことばのアカデミー」校長。「シコアサロン」主宰。日本ペンクラブ会員。みやざき大使。著書に「日本人の心 おもてなし」「ピンチも料理で救われます」等あり。





増田明美 氏



■毎月夢大学の学生で良かった！と、心が揺さぶられる時間に満足して帰路に着きます。今月も“知好楽”の論語を改めて感じ「自分という人生の長距離ランナー」でありたいと、講演して下さった増田明美氏の大ファンになりました。多くの出逢いで学び続けられる事に感謝し、スタッフの皆様にも感謝致します。
平戸市下中津良町●宮崎 トシ子

■増田明美さんは某新聞の読者の悩みに答える「人生案内」の回答者のお一人で、時代を表す相談に的確に回答。相談者に寄り添う横から目線での回答を読むのを楽しみにしています。ある相談への「カッコ良くなっていいんですよ。失敗したっていいんです。自分に自信がないのは、あなたが謙虚な証拠。伸びしろ大です」とのコメントが好きです。
佐世保市早苗町●牧 千尋

■さすがランナーらしく駆け足で登壇。やさしい語り口に気持ちがあむ、本物の増田明美さんにワクワク！でした。国際大会で最高まで上り詰められたアスリートは、勝利の喜びの裏には苦節もあったとのこと。その苦しい経験乗り越えそれを人生の糧として、現在も多方面でご活躍のお話に目頭が熱くなりました。私も残り少ない人生をあきらめず自分なりに、やり残したことを少しでもやり遂げられるように努力したいと思いました。
佐世保市世知原町●本山 弘子

■増田明美さん、あの小さな体で素晴らしい記録を持っていらっしゃる事、又、ロス五輪後、自信を失い立ち上がる気力さえ持ち合わせていなかった自身のことを。沢山お話していただきました。どの瞬間にも己に向き合い、己を知ることが大切にして前進することを教えて頂きました。
佐世保市赤崎町●木村 典子

■増田さん、挫折されながらも色々な経験をされ、今があるんですね。褒め上手な増田さん、2020のマラソンの金メダルを取れるランナーを育てて下さい。握手もして頂きありがとうございます。柔らかく、優しい手でした。
佐世保市木風町●西 照美

不思議な、人との出会い

佐世保市瀬戸越町 鷲見 邦子

夢のひろばの村島さんが歌う「メロデー」に心酔し、夢まだ覚めやらぬところへ颯爽と現れた増田さん。辺りにパァッと花が咲いたような気持ちに包まれました。テレビのマラソン解説では、ランナーの知られざる日常のこと等、とても人間味のある解説に好感を持っていました。私は、ワクワクして聴き入りしました。

ロス五輪で途中棄権の後、心ない誹謗中傷に外に出るにも恐怖を覚えたこと。のち、何年かして走った大阪マラソンの際に、市民ランナーの方々の優しさに接し徐々に心を開いていけたこと。想像を絶するご苦労や体験をされたことに頭が下がりました。

その後、永六輔さんとの出逢いで新しいチャレンジをされ、現在に至っておられるとのこと。つくづく人の出逢いは不思議なものだと考えさせられました。

そして常に前向きに歩んでおられる増田明美さんに笑いと勇気を頂きました。

増田さんが話しておられた「明るさ求めて暗さ見ず」の精神で日々過ごしていこうと思います。

再生

佐世保市大和町 宮地 義昭

19年ぶり二度目の佐世保講演、お帰りなさい。鮮やかなグリーンの上衣に、身ぶり手ぶりを交えて、マラソンを通しての自分の姿をユーモラスに披露された。高校生から本格的に陸上競技をはじめ、生来の素質と努力により長距離種目における記録を次々と更新、榮えてロス五輪の女子マラソン日本代表に選出された。

オリンピックでの成績は惨憺たる敗北であった。完走できなかった理由は、競技日時に合致した準備不足だったと思われる。充分な準備をした人が勝つ

と二宮清純氏は指摘している。

ここから自己再生への葛藤がはじまる。増田さんが、自己嫌悪に陥った自分を奮い立たせることができたのも、やはりマラソンであった。ジョギングから始め、市民マラソン、そして大阪国際マラソンを走ることができた。4年の歳月が経っていた。トレーニング中、罵声を浴びることもあったが、それより増して市民ランナーからの熱い声援、細やかなもてなしの方が有り難く心に届いた。

人は一人では生きられない。多くの人から助けられて身心とも強くなれる。恥をかいてもいい、失敗をおそれず一つのこと挑戦することが、自己再生の道である。
「生きている証拠に今日も恥をかき」

人のお陰で次に進む

佐世保市大和町 山領 知瑞子

本日の花題といい、初めて拝

聴した村島佳佑さんの素朴で温かみのある弾き語りといい、梅雨の晴れ間の一服の清涼剤の様に心地良く心に響いた。

今日、私にとっては初めての増田明美氏は爽やかな優しい語りで、終始身振り手ぶりの明るい表情を絶やさず、私共学生一人一人に向かってまるで隣に居る様な親近感で話されるのが印象的だった。特に、オリンピックでの途中棄権という最悪の事態もあったが、これをバネに再スタート。「明るさ求めて暗さ見ず」をモットーに努力、突き進み再生することが出来た。素晴らしい精神力の持ち主の一言に尽きる。人のお陰で次に進む。人間一人では生きられない事を改めて実感した。

温容の中に強靱な精神力

佐世保市重尾町 白井 寛

明美さんが高校時代から長距離ランナーとして活躍していた事は、新聞で拝見。私共に大き

夢のひろば

◆日時／7月19日(木) 午後6時～6時20分
 ◆演目／男声合唱
 ◆出演／西海メンネル・コール
 指揮／樋渡 憲三
 ピアノ伴奏／川村 有里

◆出演団体紹介

昭和52年に僅か4名の団員で発足した私たちの団は、多くの社会人男声合唱団がそうであるように、メンバーの変遷に悩みながらも、指揮者の樋渡憲三先生の熱意と、家族の応援によってこれらを克服しつつ、昨年3月には、創立40周年記念演奏会を開催いたしました。

団員の平均年齢は、71歳となりましたが、これからも、合唱を楽しみながら文化活動に貢献できたらと願っています。

◆曲目

男声合唱のための唱歌メドレー「ふるさと」の四季

編曲 源田俊一郎

- ふるさと
- 春の小川
- 朧月夜
- 鯉のぼり
- 茶摘み
- 夏は来ぬ
- 我は海の子
- 村祭り
- 紅葉
- 冬景色
- 雪
- ふるさと



村島 佳佑さんの弾き語り

佐世保 大好き！ 人生の長距離ランナー

な夢と勇気を与えてくれたからよく承知している。
 然し当時の明美さんは、非常に温和な感じで、あんな力量のあるスポーツマンとは思えなかったが、日本最高記録12回、世界最高記録更新2回という輝かしい成果、まさに日本人の誇りである。
 壇上での90分。終始、手や肩を振り全身をゆすって明るく華やかで、我々に色々な教訓と感銘を与えてくれた。
 ①人は一人では生きられない。苦しい時の人の励ましと乗り越える精神力が大切。
 ②「知好楽」、好きでやっている人は楽しんでる人。即ち苦しみが好きという心理。
 ③オリンピックの途中棄権から4年間、「非国民」という罵倒の苦しみに耐えて、彼女の言う見

栄つ張りの自分との戦い、自分を改革した強靱な精神力。
 ④「明るさ求めて暗さ見ず」という支援者たちの励ましの言葉。
 ⑤涙で走りながら「神は失敗を教えてくれる」という自己に自分ではじめつけた人生。
 ⑥永六輔さんに教えられたという「恥ずかしくても良い、挑戦は決して怖くない」という言葉の実践。
 そして今や、人生の恩返しとして「日本パラリンピック」の発展に貢献されている精神力と行動力は、到底50歳代とは信じられない若さ、まさに日本人の美德を備えた模範的な女性だと痛感した楽しい有意義な講演であった。

講演を聴かれた感想をお待ちしています！

ひたむきに走り続ける

佐世保市京坪町 太郎浦 幸子

長距離ランナーとして名を馳せられた氏は、ランニングでご登壇。終始体を動かし其のエネルギーギッシュな語りかけは会場と一体化した。
 今回で佐世保に見えたのは二度目の氏は、ホールを埋め尽くした学生の数に驚かれ「佐世保市民の知的レベルが高い！」と早速お褒めにあずかる。開口一番「佐世保大好き！」に始まり「ひよっこ」でのナレーションを担当された際の撮影裏話なども披露して戴いた。素晴らしい記録を持ち多方面にわたる役割に就かれながら、全く「驕り」も見せられない。今後もご自分の人生をひたむきに走り続けられますよう切望する。

「生きていく証拠に今日も恥をかき」の一句は座右の銘にした

経験があればこそ

佐世保市指方町 久田 康子

明美さんは以前、NHK Eテレの「ようこそ先輩」で、「走る時は心の中で好きな歌を歌いながら走った方がいいですよ」と言われました。それを聞いていた私の息子は、中学校体育祭の長距離走で最初は後ろの方になりました。あと2、3周になってから俄然スピードを増し、5、6人の子をゴボウ抜きして二位を大きく引き離し一着でゴールインしました。あとで聞くと、前半は「川の流れるように」を心の中で歌いながら走り、後半はこれじゃ遅いぞと思って「イエローイエローハッピー」を歌いながら走ったそうです。
 明美さんは、早霧せいなさんなど他の人のことばかり褒めておられたので、今日は人を褒めることで終始されるのかと思っていました。しかし自分の辛かった思い出を話されてから、私はずつと涙が止まりませんでした。誰でも死にたくなくなるほどの辛い経験は、人生に何度かあるのではないのでしょうか。しかしそのどん底からどうやって這い上がってくるか、それが大切なことだと思えます。

牛と一緒にいるCMを見た時に、何と可愛いらしい女性だろうと思いました。明美さんのその明るさ、やさしさ、聡明さは過去の辛かった経験があればこそだと思います。神様は明美さんに世の人々を応援してあげる使命を与えられたのだと思います。

※締め切りは講演日の1週間後(必着)
 ※宛先は、させほ夢大学事務局まで

今にも走りだしそう

西松浦郡有田町 庄村 雅子

村島佳佑さんの美しい声にうっとり。自分を知ってもらいたく何度も名前を言っ、一生懸命にアピールする姿をほほえましく感じました。これからの活躍を期待します。
 明るく活動的な増田明美さん、話しながら走り出しそうな雰囲気、身振り手振りでランニング状態、聞いている私も、手に力がはいりました。走って自分が幸せだと思えるマラソンに楽しさを感じて、多くの記録を残され、最近ではマラソンや雑誌エッセイなどで何時も笑いを誘います。これまではオリンピックの重圧で自分を見失う状態を経験され、辛い周りの誹謗中傷に苦しみながら、今最高に幸せそう、真の強さを知りました。ラジオとの出会い、永六輔さんとの生放送、原稿の読み違い、聞いた人はどんなに可笑しかったでしょう。現在の増田さんを見てみると、過去の辛さを全然感じさせないような笑顔いっぱいの方に感動しました。



面白すぎる明美さん

細かすぎる取材と、詳しくすぎる解説が

直谷城跡

吉井エコツーリズムガイド
和田 隆

の生活の跡を窺わせる遺物が最も多く、城の始まりも「戦国時代」が有力とされている。

そのころの城主は松浦党の一員志佐氏で、現在の松浦市中心部を本拠としていた志佐氏が、八代義(よろし)のころ、時あたかも戦国時代半ばで防備に有利な福井の直谷に城を構えた、とされる。

その志佐氏も九代純昌のとき、竜造寺氏・大村氏の連合軍に直谷城を攻められ、純昌は五島に逃れ、直谷城は落城する。

その年に松浦一族田平の峯昌が志佐の名跡を継ぎ、志佐純元と名乗って直谷城に入り、その後十五代純高のとき平戸松浦に併呑さ

れ、以後一六一五年の一國一城令で廃城となった。

直谷城跡の特徴の一つに遺構の保存状態の良いことは前述したが、過去の調査で明らかになった遺構の主なものは、次のとおりである。

一の郭と二の郭跡、追手道と搦手道、四重の土塁と三重の空堀が一体となった追手郭、五本以上の堅堀、数カ所の武者溜りやそれらを繋ぐ幾筋もの武者走り、井戸などなど。

それらが自然の地形を巧みに生かして天嶮の要害を形づくる。その遺構の中で筆者が最もロマンを感じるのは、現存する「矢石置き場」である。

周囲を高さ三十メートルほどの断崖に囲まれた天然の要害を思わせるが、実は崖が低く攻め込まれ易い場所も一カ所だけある。その武者走りに敵に投げ落とす人頭の倍ほどの大きさの「矢石」が集積されている。

城をめぐる攻防戦があった城跡だけに、戦に備えた矢石置き場には、ロマンと同時にリアリティーを覚えるのである。

事務局だより

★増田明美さん、ありがとうございます
ございました

すばらしいギター演奏に続いて、鮮やかなグリーン衣装で登場された増田さん。

大きなジェスチャーを交えた明るい表情で、ご自身の選手生活や他の陸上選手達の様々なエピソード等を紹介されました。又、好きな言葉として「知・好・楽」をあげられました。

講演終了後は、会場出口に急いで行かれ、会員の皆さんのお見送りをされました。

★させば夢大学学生証提示での割引特典について

①アルカスSASEBOの公演チケット割引

当大学学生証をアルカスSASEBOチケットカウンターで提示されますと、1会員で1公演「2枚まで」一般料金から「5%割引」で購入できます。

②九十九島遊覧船等チケットの会員割引

九十九島パールシーリゾートの九十九島遊覧船チケットは、パールシー窓口で提示されますと、1枚で5名まで「100円割引」で購入できます。

なお、海ぎらら・森きららでも同額割引となりますが、他にも身分証提示特典(佐世保市民)などがあります。重複割引はできませんので、十分に確認の上、ご利用ください。

★館内の空調について

アルカスSASEBOホール内の空調は、部分的な調整ができません。できる限りの対応をしていますが、フロア及び座席の位置によってはかなりの温度差があります。十分に準備をされた上でご出席ください。

★感想文のお礼とお詫び

今回も沢山の感想文をお寄せ頂きありがとうございます。スペースの関係で掲載できなかった方々にはお詫び致します。

★12月13日(木) 戸田奈津子さんの講演会は、正式に決定しました

講演を聴かれた感想をお待ちしています!

600字程度にまとめ、させば夢大学事務局までご郵送下さい。締め切りは講演日の1週間後(必着)です。



【出典】直谷城主墓石塔群、佐世保市
CCライセンス (<http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>)